

福岡県地域エネルギー政策研究会の進め方について

(平成26年度再整理版)

1. 研究会の運営方針

- 研究会の存続期間は、当面、2年間（平成25～26年度）とする。
- 研究会は概ね2ヶ月に1回程度の開催とする。
- 毎回テーマを設定し、テーマに沿った講師を招聘。
講師から最新動向など情報提供をいただいた後に、委員間で討論を実施する。

2. 主な検討テーマ

(平成25年度)

- ① 再生可能エネルギーの普及に向けた地方の役割と普及促進策
- ② 燃料電池を含むコジェネ（熱電併給システム）など分散型電源の普及に向けた地方の役割と普及促進策
- ③ 石炭や天然ガスによる高効率発電の普及に向けた地方の役割と普及促進策
- ④ 需要サイドにおいてエネルギーの効率的利用を促進するために地方が担うべき役割と具体的な取組み

(平成26年度)

- ① 新たな再生可能エネルギー（洋上風力発電等）の普及に向けた地方の役割や取組み（継続）
- ② 高効率火力発電の普及に向けた地方の役割や取組み（継続）
- ③ 水素エネルギー社会の実現に向けた地方の役割や取組み（新規）
- ④ 新たなエネルギー・電力需給システムの構築に向けた地方の役割や取組み（新規）

3. 検討の進め方

(1) 全体の方向性

- 平成25年度においては、「需要面について現状把握及び将来予測」を行うとともに、研究会における議論を基に、「地域における課題の概要」を明らかにした。
- 平成26年度においては、「地域における課題」を更に詳細に研究するとともに、「地方が果たすべき役割や取組み」について最終的な取りまとめを行う。

＜論点1＞ 県内のエネルギー需要は、将来どのように変化していくのか

＜論点2＞ 県内のエネルギー需要を、将来どのようなエネルギー源で賅っていくのか（安定・安価で、環境に優しいエネルギー供給の確保）

(2) 研究会における議論

- 研究会の招聘講師については、検討テーマに造詣の深い有識者のほか、福岡・九州の現状に精通する専門家から選定する。
- 研究会における委員意見を踏まえ、事務局及び委員において追加・補完調査を行うほか、必要に応じ、招聘講師の追加等を行う。
- 研究会に対する各委員からの意見提出・情報提供等については、積極的に議題として取り上げ、議論を深める。
- 政府におけるエネルギーベストミックスの検討状況等については、事務局において情報収集を行い、適宜、研究会に報告等を行う。

(3) エネルギー需給の定量化

- 平成25年度においては、研究会の議論を参考に、エネルギー需要の現状把握及び将来予測（定量化）を事務局において実施。
- 平成26年度においては、政府におけるエネルギーベストミックスの検討状況などを踏まえながら、エネルギー供給の将来予測（定量化）について検討を行う。

4. 研究成果のとりまとめ

- 研究会の進捗に応じ、適宜、県に対し報告・提言を行う。

5. 平成26年度 開催日程（予定）

	開催日時	研究テーマ
第9回	平成26年 4月22日	平成26年度研究会の進め方について ＜講師＞ 資源エネルギー庁
第10回	平成26年 5月26日	新たな再生可能エネルギーの普及に向けた地方の役割や 取組み ＜講師＞ 電源開発(株), 北九州市
第11回	平成26年 8月18日	水素エネルギー社会の実現に向けた地方の役割や取組み
第12回	平成26年10月 9日	新たなエネルギー・電力需給システムの構築に向けた地方 の役割や取組み
第13回	平成26年11月21日	高効率火力発電の普及に向けた地方の役割や取組み
第14回		総括議論
第15回		(予備)
第16回		最終提言とりまとめ

参考. 平成25年度 開催実績

	開催日時	研究テーマ
第1回	平成25年 2月23日	研究会の進め方について①
第2回	平成25年 5月 7日	研究会の進め方について②
第3回	平成25年 6月28日	家庭におけるエネルギーの効率的利用の促進
第4回	平成25年 8月20日	再生可能エネルギーの普及促進
第5回	平成25年10月 7日	コジェネなど分散型電源の普及促進
第6回	平成25年11月17日	中間とりまとめ
第7回	平成25年12月20日	高効率火力発電の普及促進
第8回	平成26年 2月10日	産業・業務部門におけるエネルギーの効率的利用の促進